

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳ウエルカム花ロードver.15』

- 【概要】 年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を、小学生や地域の方々と一緒に植えた花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルートで、毎年5月に千歳ウエルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード36」がスタート。平成19年、国・道・自治体が連携した「千歳ウエルカム花ロード」と共同し活動を継続、今年度は15周年を迎えました。黄色のマリーゴールド 約33,000株を植栽し、総延長約7.2kmとなる花ロードが完成し、来道者のみならず、たくさんの方々の目を楽しませてくれました。
- 【日時】 花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）
花植え：5月23日 除草：7月12日
- 【場所】 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）
- 【主催】 千歳ウエルカム花ロード実行委員会
- 【参加人数】 植栽560名、授業111名



クラウドファンディングに
チャレンジ！
目標達成率132%（27名・265,000円）
が集まり、花苗約3,700株、約800m
の花ロードを延長しました。



▲事前作業 土おこし(5月16・17
日実施)



▲植栽直前の特別授業。道路に関する授業・花ロードに関する授業・花植体験授業を担当者から説明



▲子どもたちと一緒にどんどん植栽



▲植栽の約2ヶ月後におこなった除草作業風景



▲道の駅「サーモンパーク千歳」において、15周年記念のパネル展を開催

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453・530（ヨゴサン・ゴミゼロ）キャンペーンin支笏湖』

- 【概要】 453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で13年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつ増え、総勢100名を越える活動となりました。また、年々活動に参加いただける団体が増え、人数も増えていることから活動範囲を延長して3.0kmを実施しました。
- 【日時】 平成29年5月30日、9月29日 午前6時30分～7時30分
- 【場所】 （集合）千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場（バスターミナル）前
（実施場所）国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐
- 【主催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【協力】 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖高齢者クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTCA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部
- 【参加人数】 春：120名、秋：120名



支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『国立公園満喫プロジェクト展開事業：おもてなしの地域づくり』

【概要】 環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの対象地域として、千歳市及び国立公園支笏湖運営協議会などに関わるメンバーにて実践してきた「支笏湖まちづくりビジョン（2004）」を元に、2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを見据え、今後10年を想定し、インバウンド拡大への対応や利用の質の向上に資する具体的なアクションを実施するため、関係団体・機関によるプロジェクトミーティングを開催し、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」について検討した。

【日時】 平成29年12月12日、1月16日、2月27日、3月27日

【場所】 千歳市支笏湖温泉街

【主催】 国立公園支笏湖運営協議会

【協力】 支笏湖温泉組合、支笏湖ビジターセンター、千歳観光連盟、千歳市、国土交通省北海道開発局、環境省支笏湖自然保護官事務所、札幌大通りまちづくり会社（株）、シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 各14名



▲第1回：支笏湖会議



▲第2回：支笏湖会議



▲第3回：支笏湖会議



▲支笏湖課題マップ

支笏洞爺ニセコルート 《ウェルカム北海道エリア》

SW-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ウェルカム北海道エリア：外国人観光客周遊ドライブルートの検討』

【概要】 レンタカーを利用する外国人旅行者への安心・安全なドライブの推奨や外国人観光客を対象とした新たなメニューの創出、受入れの課題解決による外国人観光客に季節に応じた観光ルートの提供を行うことを目的とするウェルカム北海道ドライブルート推進事業について、地域・行政の合同会議を開催し、新千歳空港発の外国人観光客周遊ドライブルートを検討した。

【日時】 平成29年12月15日

【場所】 千歳市社会福祉協議会

【主催】 シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート
ウェルカム北海道エリア運営代表者会議・行政連絡会議

【参加人数】 28名



▲各グループでの周遊ドライブルートの検討



▲完成した周遊ルートの発表



▲記念写真

支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

MOVE洞爺湖2017

- 【概要】 北海道のラジオ局AIR-Gと連携で開催するボランティア活動。世界ジオパークに認定された洞爺湖周辺の環境保全の活動として、湖畔の彫刻の清掃、花壇整備などを実施するほか、参加者全員でフォークダンス「マイムマイム」を踊った。
- 【日時】 平成29年4月29日（土）9:30～
- 【場所】 洞爺湖町洞爺湖温泉
- 【主催】 一般社団法人洞爺湖温泉観光協会／AIR-G'
- 【協力】 室蘭開発建設部
- 【参加人数】 250名



洞爺湖畔 花壇造成の様子



とうや湖ぐるっと彫刻公園
花壇造成の様子



花植え1か月後の様子
(とうや湖ぐるっと彫刻公園)

支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-2

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2016

- 【概要】 従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年は、参加人数も過去最高の110名となり、6コースと広い範囲で展開。回収ゴミの量は洞爺湖町側で1トン、壮瞥町側で約2トン、伊達市で約1トン、合計5トンのゴミを回収した。
- 【日時】 平成29年9月2日(土) 8:20~11:30
- 【場所】 洞爺湖1周
(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)
- 【主催】 支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)
- 【参加人数】 110名

平成26年度
(2014年)

○参加者 75名
○コース 5コース
○回収量 3トン

平成27年度
(2015年)

○参加者 80名
○コース 6コース
○回収量 4トン

平成28年度
(2016年)

○参加者 104名
○コース 6コース
○回収量 5トン

平成29年度
(2017年)

○参加者 110名
○コース 6コース
○回収量 5トン



過去最多110名の参加となった開会式



ゴミ拾い中の参加者の様子



ゴミ拾い終了時の様子

支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-3

道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。

【日時】平成29年6月18日

【場所】洞爺湖周辺(国道453号沿い)

【主催】NPO法人
有珠山周辺ジオパーク友の会

【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-4

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2016

- 【概要】 地域住民及び道路管理者双方にとってもメリットとなる効果的な情報提供ツールとして（「洞爺湖エリアドライブマップ」）を作成。具体的には、「ヒヤリ・ハット」箇所や「道の駅おすすめ情報」、「おすすめビューポイント」等の情報提供を行うことで、道路利用者にとっても有益なマップとなるよう配慮した。※日・英版：2か国
- 【日時】 平成28～29年度
- 【発行】 洞爺湖地区協働型道路マネジメント会議



英語版マップ『Lake Toya Area Driving Map』

支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第23回 尻別川クリーン作戦

【概要】清流日本一に何度も選ばれている尻別川の清掃活動。清らかな流れを守り自然を大切にすることが心の輪の広がりにつながるというコンセプトのもと、今年で23回目を迎えた取り組み。町内外から約290名の方々にご参加、ご協力をいただき、ランラン公園から港地区までの約25km区間、徒歩及びカヌー30艇、ラフティングボート7艇等を使用しての清掃活動を行った。今年も地上と合わせて2トントラックで2台のゴミを収集できた。

【日時】平成29年6月17日（土）9:00～12:00

【場所】尻別川ランラン公園、目名川橋下流、御成橋付近、港地区ほか

【主催】蘭越町／NPO法人しりべつリバーネット

【参加人数】約290名



ラフティングでの清掃



中州に上陸し流れ着いたゴミを回収



SUPを使った河川流域の清掃



ゴミ回収の様子



尻別川クリーン作戦参加者の集合写真

支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

倶知安農業高校との連携によるフラワーハンギング整備

- 【概要】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会の事業の一つ。
森づくりセンターの花による装飾のため、倶知安農業高校の生徒(3年生)と授業の中で花の植え方やハンギングについて学ぶ機会を設け、その後、森づくりセンター壁面に設置。
- 【日時】 平成29年7月6日(木)
- 【場所】 森づくりセンター(倶知安町)
- 【主催】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会/倶知安農業高校
- 【参加人数】 約290名



支笏洞爺二セコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-3

地域協働による国道交差点の冬道つるつる路面对策

- 【概要】 国道230号沿線の喜茂別町市街地及び喜茂別小学校への通学路において冬期ツルツル路面が課題として挙げられていた。協働型道路管理マネジメント会議等での議論を踏まえ、NPO法人きもべつWAOメンバーにより、冬期の砂まき等が継続的に実施されている。
- 【日時】 (夏) スリップストップ！砂詰め大会：平成29年8月15日
(冬) 交差点部での砂まき活動：平成29年12月～平成30年2月頃まで
- 【場所】 国道230号交差点付近（喜茂別町）
- 【主催】 NPO法人きもべつWAO
- 【協力】 後志建設工業（株）



支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

真狩地域クラウド交流会

【概要】 真狩村”初”開催。顔の見えるビジネスマッチングの機会と、真狩村で起業する方をクラウドシステムを使い応援する交流会型のイベント。

- ・アイスブレイク「大人の本気のラジオ体操第1」
- ・起業家プレゼン+クラウド交流タイム+応援投票
- ・「応援し隊」のご紹介・PR
- ・応援投票結果発表、賞品授与式など

【日時】 平成30年3月24日（土）

【場所】 真狩交流プラザ（真狩村）

【主催】 真狩地域クラウド交流会実行委員／NPO法人しりべつリバーネット

【参加人数】 139名



支笏洞爺ニセコルート 《ルート全体》

STN

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

活動名：シーニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ、”シーニックナイト2018”。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】2018年1月27日(土)～2月18日(日)まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内：9市町村)

【主 催】シーニックナイト2018実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議／支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議ほか



支笏湖温泉(千歳市)



道の駅そうべつ情報館(壮瞥町)



北海道ワイン工場(小樽市)



駅前温泉綺羅乃湯(ニセコ町)



道の駅花ロードえにわ(恵庭市)



道の駅あかいがわ周辺(赤井川村)



郷の駅ホツときもべつ周辺(喜茂別町)



国道5号沿線(倶知安町)

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

- 【概要】旭川市西神楽と上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。旭川市西神楽は地元の市民委員会と連携し、国道237号沿線のゴミ拾いも実施した。また、上富良野町は例年通り、上富良野町や商工会、地域団体、住民等、多数が参加し、国道237号をはじめ、道道・町道のゴミ拾いを実施した。
- 【日時】上富良野：4/23 10:00～12:00 上富良野：4/25 9:00～11:00
- 【場所】旭川市西神楽、上富良野町
- 【主催】大雪・富良野ルート運営代表者会議
- 【参加人数】200名（主催者20名、一般参加180名）



上富良野町 ゴミゼロ



西神楽 ゴミゼロ



大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

- 【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」について、植樹した木の維持管理を実施した。平成29年10月10日に、過去に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、100プロの全体会議を平成29年11月2日に開催した。
- 【日時】現地確認：10/10 全体会議：11/2
- 【場所】大雪・富良野ルート
- 【主催】北海道の美しい景観を育てる会
- 【参加人数】全体会議 約30名、植樹 約20名



現地確認



全体会議



大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：3ルート連携フォトコンテスの開催

【概要】平成25年から道北のシーニックバイウェイ3ルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成29年度は応募者数：24名/応募作品：92作品の応募があった。

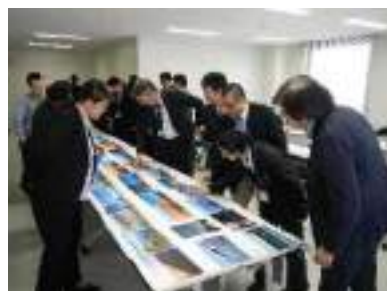
【募集期間】7月1日～9月15日

【日時】5月12日検討会 11月21日審査会 3月16日検討会

【場所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート

【主催】シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト実行委員会

【参加人数】応募者数：24名/応募作品：92作品



※※※ グランプリ ※※※

【涼 風】

撮影者：増井 道英

撮影地：萌える天北オロロンルート



※※※ 大雪・富良野ルート賞 ※※※

【月輪の夜】

撮影者：斉藤 恵一

撮影地：大雪・富良野ルート

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：地域イベントでのシーニックバイウェイPR活動の実施

【概要】 シーニックバイウェイや大雪・富良野ルートの活動をPRするために、上富良野で開催された「仮装盆踊り大会」にシーニックPRカーが参加し、シーニックのPRパネルの展示やパンフレットの配布などを実施した。

【日時】 8月5日（土）

【場所】 上富良野町

【主催】 大雪・富良野ルート

【参加人数】 主催者約5名、一般約200名



東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】 シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】

- ・ 9月30日(土)：道の駅流水街道網走 参加者：300人（主催者20名、一般参加280人）
- ・ 10月1日(日)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人（主催者30名、一般参加400人）
- ・ 9月10日(日)：道の駅パパスランドさつる 参加者：350人（主催者20名、一般参加330人）

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、清里、ウトロ



（パネル展示の様子）→



東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、メーメーベーカーリー（斜里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約22,000人（9箇所）



フロックス公園



老朽化により現在修理中のメルヘンの丘シーニックデッキ

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ルート内道の駅スタンプラリー

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内7道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 6月1日～10月30日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体7道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：コカコーラ(株)網走営業所
- 【参加人数】：1,100人（内当選者18人）
- 【商品】：清涼飲料水1箱×2名、7道の駅特産品詰め合わせ×2名、7道の駅それぞれの特産品×14名



表面



裏面

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名： 3ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】 大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。
今年度で4年目の開催。

【応募期間】 平成29年2017年7月1日～9月15日

【主催】 3ルート連携フォトコンテスト実行委員会（平成30年度から宗谷ルートに事務局移管）



平成29年度宗谷ルート賞
『夕焼けリフレクション』
（男性・30歳・札幌市）



平成29年度入選

3ルート持ち回りで過去の実賞作品のパネル展も実施

		
7月11日～18日：JR旭川駅	8月26日～27日：「最北端・食マルシェ」イベント会場	9月9日：「留萌自転車体験会」イベント会場（船場公園）

これまでの応募作品数

ルート名	H27		H28		H29	
	全応募 作品数	有効 作品数	全応募 作品数	有効 作品数	全応募 作品数	有効 作品数
宗谷シーニックバイウェイ	49	49	95	95	40	40
萌える天北オロロンルート	51	43	43	43	29	29
大雪・富良野ルート	49	48	69	69	23	23
対象外	9		6		0	
合計	149	140	213	207	92	92

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島一周サイクリングコース愛称募集

- 【概要】 利尻島一周をサイクリングロード適地として総称する愛称（利尻をイメージできるもの）を募集。利尻富士町利尻自転車道線（サイクリングコース）はその専用道路として位置付ける。
- 【日時】 平成29年7月20日（木）～平成29年8月15日（火）（募集期間）
平成29年8月27日（日）「第29回利尻島ふれあいサイクリング大会」での人気投票（一次審査）
平成29年8月28日（月）利尻島一周サイクリングコース愛称審査会（最終審査）
- 【場所】 利尻島
- 【主催】 利尻島観光推進協議会、利尻富士町・利尻町・利尻富士町観光協会・利尻町観光協会・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議（共催）、北海道運輸局・稚内開発建設部・北海道宗谷総合振興局（後援）、ハートランドフェリー（株）・宗谷バス（株）（協賛）



利尻・彩くるロード
Rishiri Cycling Road～The Multi-colored Trail～

日本海に浮かぶ最果ての「利尻山」。見る角度・季節によって様々な表情を楽しめます。麓には美しい海岸線が続き、海の向こうには礼文島と360度パノラマが続き、彩豊かな自然美・絶景がサイクリスト魅了します。

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：礼文島遺跡の観光活用に向けた意見交換会

- 【概要】 礼文島内にある「浜中2遺跡」が今後の観光資源としての活用可能性を探るため、現地での視察や発掘者からの説明、関係者による意見交換会を開催した。
- 【日時】 平成29年8月18日（金）10：40～16：00
- 【場所】 礼文浜中2遺跡
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・北海道大学アイヌ・先住民研究センター、礼文町・礼文町教育委員会（後援）



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDE 2017

- 【概要】 3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自分の自転車で走り切るサイクリイベントを天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した。
- 【応募期間】 平成29年9月1日～9月3日
- 【主催】 きた北海道エコ・モビリティ推進連絡会議
- 【ルート】 1日目／旭川駅→和寒町（塩狩峠）→剣淵町→士別市→名寄（泊）
 2日目／名寄駅→美深町→音威子府村→中川町（泊）
 3日目／中川町→幌延町→豊富町（抜海線）→稚内市→宗谷岬～完走祝賀会



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：夜行バスで行く1泊3日利尻島サイクルツアーの実施

- 【概要】 札幌市在住のサイクリストをターゲットに、利尻島の自転車観光を推進するために、「比較的安く」「土日」で楽しめるサイクルツアーを実施した。
- 【日時】 平成29年9月8日（金）～9月10（日）
- 【場所】 利尻島
- 【主催】 近畿日本ツーリスト北海道（旅行企画・実施）、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、宗谷シーニックバイウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会、利尻富士町、利尻町（総合プロデュース）、宗谷バス株式会社、ハートランドフェリー株式会社（協力）



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：広域観光周遊ルート・エコモビリティ事業への協力等

【概要】平成28年度に認定となった「日本のてっぺん。きた北海道ルート」の各種取り組みや平成29年度に実施しているサイクリング・エコモビリティ事業について、台湾・香港からの旅行会社の受け入れなど、積極的な協力を行っている。

【日時】台湾・香港 旅行会社・招聘日程 平成29年10月18日（水）～10月22日（日）

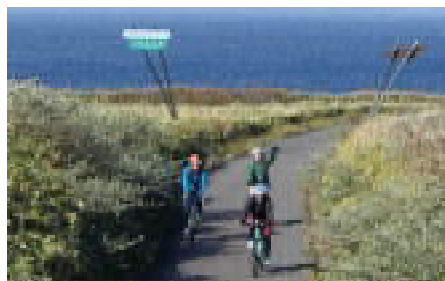
台湾・香港・タイ・シンガポール・アメリカ

旅行会社・招聘日程 平成30年3月2日（金）～3月6日（火）

【場所】札幌～増毛～羽幌～稚内～利尻（夏季）／札幌～旭川～名寄～剣淵・士別・中川～稚内（冬季）

【事業主体】北海道運輸局・北海道観光振興機構 等

②上川北部・留萌・宗谷コース	
香港	近畿国際旅行香港 企画・営業担当 小林 敏子 氏
台湾	富友旅行社 商品造成担当 高 世軒 氏
	運動生活Sports Life 編集 葉 奇典 氏
日程	行程
10/18 (水)	札幌---増毛（昼食・街歩き・果物狩り）---増毛～留萌サイクリング / 留萌泊
10/19 (木)	留萌（ラジオ出演・寿司握り体験）---小平（昼食）---小平～苫前サイクリング---羽幌炭鉱跡巡り / 羽幌泊
10/20 (金)	羽幌～初山別サイクリング---金毘羅神社---天塩（昼食）---抜海線サイクリング---こほねの家---富磯～宗谷岬サイクリング---宗谷岬 / 稚内泊
10/21 (土)	稚内---鶯泊---鶯泊～沓形サイクリング---仙法志御崎公園---仙法志～利尻島郷土資料館サイクリング---姫沼～鶯泊サイクリング / 鶯泊
10/22 (日)	鶯泊FT---稚内FT---稚内空港---新千歳空港---帰国



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

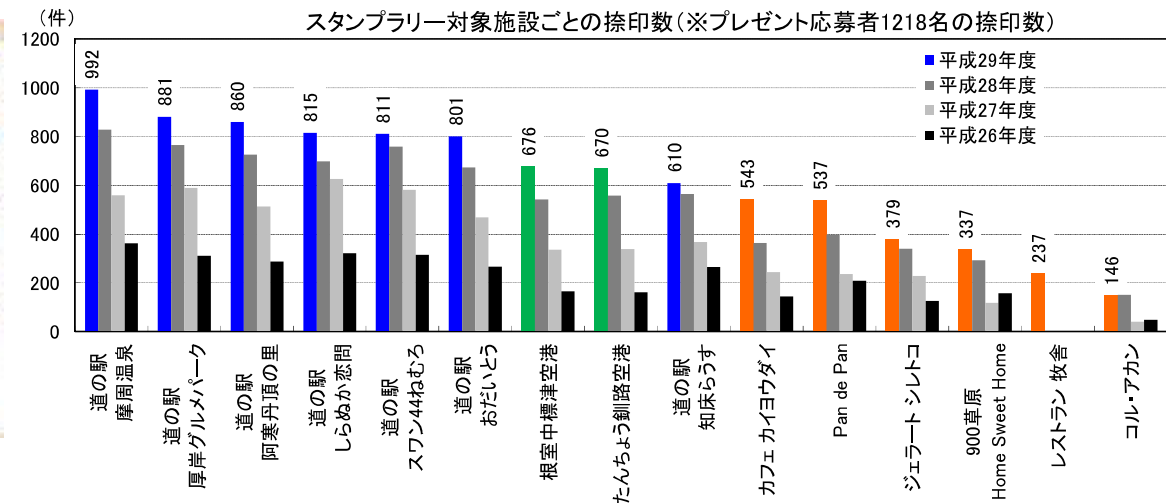
活動名：くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施

- 【概要】スタンプラリーを通じて、管内を訪れる観光客、地域住民の皆様に、ドライブ観光を楽しんで頂きながら、道の駅やシーニックカフェを巡っていただき、地域の観光振興に繋げる。
- 【日時】平成29年4月29日～平成29年10月31日
- 【場所】管内のシーニックカフェ6店舗、道の駅7箇所、たんちょう釧路空港、根室中標津空港
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】参加総数は不明（スタンプラリー 賞品への応募者数：1218名）



ぐるっと！スタンプラリーの台紙と回収BOX

	平成29年度	(前年比)	平成28年度
スタンプラリー賞品への応募者数	1,218名	(114%) 14%増	1,069名
賞品応募者の対象施設への立ち寄り総数	9,295件	(118%) 18%増	7,907件
うち、「道の駅」への立ち寄り総数	5,770件	(115%) 15%増	5,014件
うち、シーニックカフェへの立ち寄り総数	2,179件	(122%) 22%増	1,793件



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：駐車帯での景観改善活動と景観保全活動

- 【概要】平成26年度から、道路景観を改善するための活動としてルート内の駐車帯の清掃を開始。平成28年度からは、改善だけでなく景観を保全するための試行を開始。ゴミの量が多い駐車帯を対象として、駐車帯路側の除草などの対策によるゴミ捨て防止の効果を検証。
- 【場所】①R241奥春別駐車帯（弟子屈町）、②弟子屈町周辺の駐車帯、③阿寒湖畔周辺の駐車帯
- 【日時】平成29年07月04日：景観保全のための除草の試行(①)
平成29年08月26日：除草による景観保全効果検証(①)と景観改善（駐車帯清掃）活動(②)
平成29年10月01日：景観改善（駐車帯清掃）活動(③)
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会
- 【参加人数】①除草の試行:6名、②効果検証と清掃活動(弟子屈町):20名、③清掃活動(阿寒湖畔):17名



駐車帯での除草の試行



弟子屈エリアの駐車帯清掃



阿寒湖エリアの駐車帯清掃

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】 平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、国道沿線や観光地などを清掃するおもてなしの活動を行っている。今年度は、新たに1箇所拡大し、計5箇所で実施した。今後は、関係機関との調整を図り、実施箇所の拡大を目指す。
- 【日時】 平成29年4月29日（祝）
- 【場所】 五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、函館市縄文文化交流センター周辺、七飯町田園通り・高台通り周辺、函館市小安町入口交差点周辺
- 【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】 128名（主催者：98名、一般参加：30名）



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概要】 平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO₂削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。今後は、既存イベント（きじひき高原まつり）も活用した参加者確保を目指す。

【日時】 平成29年8月20日（日）

【場所】 きじひき森林公園の森

【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】 約50名（主催者：15名、一般参加：35名）



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：石田東生先生をお招きした函館・大沼・噴火湾ルート勉強会

【概要】 筑波大学名誉教授の石田東生先生による「シーニックバイウェイと道の駅との連携のあり方」と題した基調講演や函館・大沼・噴火湾ルートと道の駅との連携事例報告等の勉強会を開催した。今後は、勉強会や意見交換会を踏まえたルートと道の駅とのさらなる連携を目指す。

【日時】 平成29年11月10日（金）

【場所】 大沼国際セミナーハウス

【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】 約40名（主催者：8名、一般参加：32名）



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2018

【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計12箇所（内1箇所は強風により中止）全自治体で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。

【日時】平成30年2月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）、17日（土）

【場所】五稜郭公園、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば、函館市地域交流まちづくりセンター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、新函館北斗駅前西側公園、茂辺地北斗星広場（以上、北斗市）、大沼国定公園（七飯町）、道の駅「しかべ間歇泉公園」（鹿部町）、オニウシ公園（森町）、噴火湾パノラマパーク（八雲町） ※噴火湾パノラマパークは強風のため中止

【主催】シーニックdeナイト実行委員会

【参加人数】約1,500名（主催者：200名、一般参加：1,300名）



▲函館新道



▲はこだて朝市ひろば



▲新函館北斗駅前西側公園



▲オニウシ公園

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-1

活動名：バイウェイカフェ（道路協力団体の取組）

【概要】道路協力団体での収益活動として、船場公園（留萌市）手前の国道沿いでオープンカフェ「バイウェイカフェ」を開催した（平成29年9月9日）。当日は、留萌開発建設部主催のサイクルイベントと連動する形で開催し、集客増に努めた。平成30年度には、カフェで得た収益も活用しながら、清掃・除草活動を実施する予定である。活動の状況について、第32回日本道路会議でのパネルディスカッションにて、活動報告を行った。

【日時】平成29年9月9日 10:00～15:00

【場所】国道231号沿い（留萌市船場公園前）

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】活動従事者：10名 一般参加者：50名



カフェの看板と販売の様子



カフェでくつろぐ様子



沿道側から見た活動の様子

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-1

活動名：天塩川でつなぐ・ひろがるプロジェクト

【概要】天塩川にて自然保護活動を行う活動団体「天塩川を清流にする会」を中心に、「天塩かわまちづくり検討会」などの既存の組織と連携し地域への来訪意識向上に資するべく、天塩川の魅力を発信するグッズの試行、自然保護活動の活動資金の継続化の検討を行った。その際、グッズ製作の試行に向けた事前調査としてルート内外の観光施設等にてアンケートボードを用いた調査を実施し、観光客の志向を把握するとともに、継続的な製作、販売に向けた検討を実施した。検討の際、松浦武四郎の生誕200年に向けた連携を模索するため、松坂市の松浦武四郎記念館にも視察に行った。

【日時】平成29年8月～平成30年3月

【場所】天塩町他管内7市町村、名寄市、稚内市、三重県松坂市

【主催】萌える天北オロロンルート運営代表者会議（担当：NPO法人天塩川を清流にする会）

【連携ルート】天塩川シーニックバイウェイ

【参加人数】活動従事者：10名



活動打合せ（天塩町）



アンケート調査（稚内市）



ライダーイベントでのアンケート調査（天塩町）

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】 ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。平成29年度には、さらに、からくれ（小平町）とティアラ（羽幌町）の2箇所が登録され、ルート内には現在9カ所が存在する。今年度も、道の駅スタンプラリーとコラボし、立ち寄り箇所として連携を図った。よりみちの駅フェスタ（場所：留萌振興局）内でのPR活動を行ったほか、ルート内のシーニックカフェ有志による「キャンドルナイトdeホワイトデーin scenic café」の取り組みが平成30年3月13日、14日の2日間、行われた。

【登録数】 シーニックカフェ9カ所（平成30年3月現在）



よりみちの駅フェスタでのPR展示



シーニックカフェの紹介ボード



そば&カフェ からくれの店内から望む日本海の夕日
(H29年度新登録)

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】平成29年7月15日（土）～10月10日（火）
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ11カ所
- 【応募人数】49名（十勝管内：27名、十勝管外：18名、北海道外：4名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
旧狩勝線ミュージアム&カフェ	新得町
三国峠茶屋	上士幌町
ナイタイ高原牧場レストハウス	上士幌町
カントリーパパ	鹿追町
美曼亭	清水町
十勝千年の森	清水町
士幌高原ヌブカの里	士幌町
レストランあしよろ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono	陸別町

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：イベント一覧

【概要】 ルート内のイベントと各町のオススメスポットを紹介した一覧を作成し、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、ルート内周遊や再訪を促すツールとして製作・配布している。裏面にはルート内のシーニックカフェマップを掲載し、スタンプラリーと連動したPRを展開した。

【作成】 平成29年4月

【発行】 平成29年4月

【主催】 十勝シーニックバイウェイ
十勝平野・山麓ルート

【配布先】 十勝平野・山麓ルート内道の駅、
商工会および観光協会など

【仕様】 印刷部数：6,300部
サイズ：A3（両面）



（表）
町のイベント一覧



（裏）
十勝平野・山麓ルート
シーニックカフェマップ

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

【概要】 今年度で8年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（通称：GSOチケット）を販売。1冊1,600円で最大4,100円分利用可能なチケット。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていくと同時に、利用施設や商品の幅を増やして更に魅力あるチケットとなるよう努めていく。

【販売・実施期間】 平成29年4月23日（日）～10月22日（日）

【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア

【チケット対応施設】 上記エリア内のガーデン、スイーツ、温泉外56施設（北の屋台20店舗含む）

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

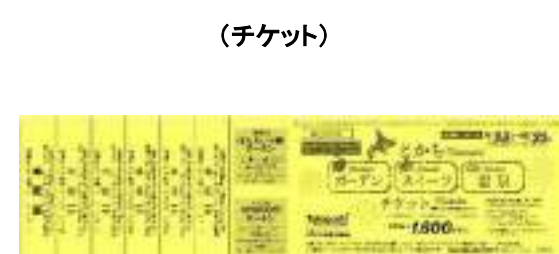
【販売枚数】 1,367（利用率88.7%）



チラシ（表面）



（チラシ中面）



（チケット）

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象とした外国人対応講習会、現地調査を実施。マップへのライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し、おすすめ情報として「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」に反映するなど、感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。

【活動期間】 平成29年4月～平成30年3月

【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：37名 ガイド活動実施先は以下のとおり

- ①シーニックカフェ十勝が丘展望台（82名）／ ②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」（12名）
- ③とかちマルシェ・十勝観光案内所（12名）／ ④ラリー北海道2017（2名）／ ⑤メロディーラインカフェ（2名）
- ⑥旧双葉幼稚園展覧会（14名）

その他 十勝圏二次交通活性化推進協議会主催「昔ばなし周遊バス」、JTB ジュエリーアイスバスツアー・タイ誘客バスツアーへ協力実施

LIFE+CONCIERGE
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人
ご当地風土アドバイザー

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ
地元の生活スタイルを伝える 親まれ親身になれる人間性
ひとへ癒し

ライフコンシェルジュとは



とかちマルシェ



十勝が丘展望台



SNS講習会



ランチ交流会

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は、おすすめの道やスポットのほか、おすすめ日帰りドライブコースなどを追加し内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【発行】平成30年3月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部 サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP>

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概 要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、パンフレットの需要も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】 平成29年4月～9月

【設置箇所】 17カ所（参加は20事業所）

【配達回数】 6回



<トカプチ情報ボックス>

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、中札内小学校、上中札内小学校の6年生35名を対象に授業を実施した。

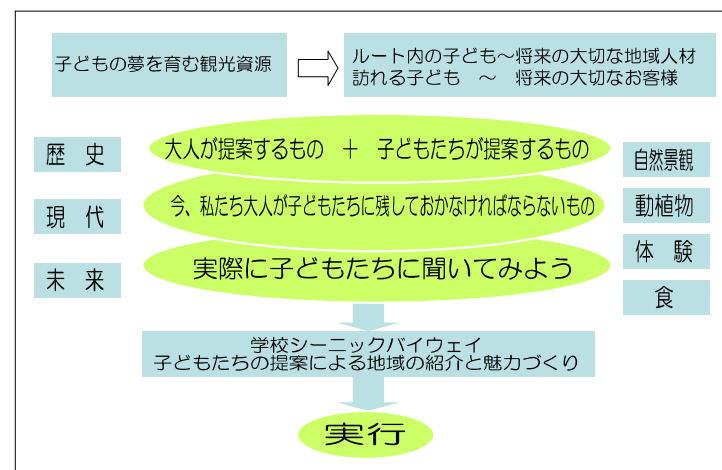
【日時】平成29年10月3日（火）

【場所】授業：中札内小学校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で12年目である。今年度は、昨年の応募者数80名を超える87名からの応募があり、過去最高の応募者数となった。管内だけではなく管外・道外からも多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いていることを実感した。

また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（5箇所：各2週間）を開催した。

フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから、継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：平成29年6月20日（火）～9月30日（土）

カレンダー販売：平成29年11月～平成30年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：87名 応募作品数：288点 カレンダー：1,500部作成



フォトコンテスト募集チラシ



2018年カレンダー



フォトコンテスト審査会



フォトコンテスト巡回作品展

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ3施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は3施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】平成29年7月22日（土）～9月30日（土）

【参加施設】シーニックカフェ 3施設

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】完全性覇者：17名（十勝管内：13名、十勝管外：2名、北海道外：2名）



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい (忠類共栄牧場内)	幕別町忠類
広尾 (ひろおサンタランド内)	広尾町

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：地域の魅力再発見バスツアー

【概要】地域の魅力を再発見することを目的に、シーニックバイウェイ関係者を対象として、地域づくり関連部会メンバーのおすすめスポットを巡るバスツアーを開催した。今回は、南区役所から国道230号をメインに定山溪方面を巡るコース設定とし、各おすすめスポットのガイドや立ち寄り先との調整も各メンバーが担当するという新しい試みを行った。メンバーの地域への思いと個性あふれるガイドが魅力的であり、参加者に大変好評であった。また、同じ地域に住んでいながらも、知らない場所があったり、地域の課題解決に向けた取り組み紹介があり、自分たちのルートの魅力や活動を再発見できるととても素晴らしいバスツアーとなった。

【日時】平成29年11月7日

【場所】札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート内

【主催】札幌シーニックバイウェイ地域づくり関連部会

【参加人数】30名



福士会長のガイドの様子



近隣農家と協力して地域を盛り上げていると活動している砥山ふれあい果樹園



札幌軟石をふんだんに活用した白川神社



簾舞空地利用の事例紹介

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：講演会・勉強会の開催

【概要】平成28年度に開催した高野誠鮮氏の講演会が大変好評だったことから、今年度は2回の講演会・勉強会を開催した。1回目は札幌市立大学教授の原俊彦氏をお迎えし「人口問題シンポジウム」、2回目はシーニックバイウェイ支援センター代表理事原文宏氏をお迎えし「シーニックバイウェイって結局のところ何？～今更だけど聞いてみよう～」と題し、シーニックバイウェイ関係者を対象として開催した。

1回目の「人口問題シンポジウム」では、少子高齢化など地域の抱える課題について講演いただき、これからのシーニックの活動や未来について考えるととてもよい機会となった。2回目の「シーニックバイウェイって結局のところ何？～今更だけど聞いてみよう～」では、シーニックバイウェイについて改めてじっくり学び考えることができ、大変有意義な時間となった。

【日時】①平成29年6月5日 ②平成30年3月14日

【場所】札幌市南区役所

【主催】札幌シーニックバイウェイ地域づくり関連部会

【参加人数】①40名、②30名



人口問題シンポジウムの様子



「シーニックバイウェイって結局のところ何？～今更だけど聞いてみよう～」の様子



どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①
どうなん追分シーニック清掃活動

- 【概要】 GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町・木古内町での取組みが定着してきており、ルートとして継続的な活動となってきた。今後は、より多く一般、他の地域の人たちの参加を促進し活動連携による拡大を引続き推進したい。
- 【日時】 江差町 平成29年4月23日（日）・木古内町 平成29年4月23日（日）
- 【場所】 江差町榎川駐車場周辺（R228沿い）
木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
- 【実施団体】 江差観光コンベンション協会 ・ 木古内町観光協会
- 【参加人数】 30名（主催者20名、一般参加10名）・40名（主催者30名、一般参加10名）



江差榎川 海岸側



江差榎川 R228側



木古内サラキ岬

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動

【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、咸臨丸がオランダで作られた船であることからチューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っており、道路景観づくり、地域づくりとして活動を推進している。

【日時】 チューリップフェア 平成29年5月3日～14日
球根掘起し作業 平成29年7月23日 球根植え作業 平成29年10月28日

【場所】 木古内町サラキ岬

【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会

【参加人数】 チューリップフェア 不明（主催者50名、一般参加約1500名）

球根掘起し 50名（主催者30名 一般参加20名）

球根植え 100名（主催者40名 一般参加60名）



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



球根植え作業 10月

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト③
歴史の道フォトコンテスト2017

- 【概要】道南9町エリアで新たな景勝地の再発見、歴史の道掘り起しPJ・どうなんフットパスロードPJの掲載使用写真としても開催。74点の応募があり5名の審査員により9点の入賞作品を選出し、昨年同様にルートへの活用や展示会等を次年度に予定。応募者からの継続の要望が今回も多数あった。
- 【日時】応募期間 平成29年9月1日～平成30年2月28日／審査委員会 平成30年3月16日
- 【場所】どうなん・追分シーニックバイウエイルート9町
- 【主催】どうなん追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議
- 【参加人数】応募作品数 74点 （エリア対象外5点）



審査委員会 3/16開催



最優秀賞・特別賞作品



入賞作品

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト
どうなん追分シーニックdeナイト

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主にイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度もワックスキャンドル製作会と12月には道の駅を活用し、X'masライブとのコラボを行った。エリア内でのシーニックのあかりの活動は試行錯誤を繰り返しながらも認識が高まってきており、今後も継続的に活動を実施し、シーニック活動の周知・拡大にも繋げたい。

- キャンドル製作会【日時】平成29年12月10日（日）【場所】木古内保育園【主催】どうなん追分SBW運営代表者会議
【参加人数】40名（主催者25名 一般参加15名）
- X'mas アコースティックライブ&どうなん追分シーニックdeナイト【日時】平成28年12月23日（土）
【場所】道の駅みそぎの郷きこない【主催】道の駅みそぎの郷きこない【参加人数】100名（主催者20名 一般参加80名）
- 木古内町みそぎキャンドル【日時】平成30年1月14日（日）【場所】佐女川神社・木古内駅前【主催】木古内町観光協会他
【参加人数】280名（主催者15名 一般参加265名）



キャンドル製作会



木古内みそぎキャンドル



X'mas アコースティックライブ

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト
殿様街道探訪ウォーク

- 【概要】 継続事業として第24回春・第25回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。今年度は第35回歴風文化賞を受賞、また、北海道遺産候補になるなど、歴史好きの新たな層へのPRに繋がる成果を得、更に広げたい。
- 【日時】 春：平成29年5月3日（水・祝） 秋：平成29年10月29日（日）
- 【場所】 福島町千軒岳
- 【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会
- 【参加人数】 春：105名（主催者45名、一般参加60名）
秋：90名（主催者45名、一般参加45名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト
どうなんフットパス・ロード及び歴史の道掘り起し資源調査整備推進事業

- 【概要】 今年度、今までのエリアの道について見直し、資源を磨き、PRする作業を行った。（一社）地域研究工房代表理事小磯修治先生を招き、学習会を開催したほか、エリア地域の視察をして見直し、先進地視察として青森「安藤の郷」「ひろさき街歩き」を行った。それらを集約しエリアマップを製作した。
- 【日時】 学習会：平成29年9月13日（水） 地域視察：平成29年9月13～15日（3日間）
先進地視察：平成29年11月17～18日（2日間）
- 【場所】 学習会：木古内 地域視察：木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差
先進地視察：青森県津軽方面・弘前方面
- 【主催】 どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】 学習会：39名 エリア視察：11名 先進地視察：5名



学習会（地域観光戦略）



エリア視察



先進地視察

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクトほか
学習会

【概要】 ルート活動の充実を図るため学習会を定期的を実施している。インバウンドを視野にいれながらも、広域観光を推進し、エリアの魅力を伝えるべく学習会を今年は最多3回開催した。第15回学習会は「交流拠点の活用と現状」を道の駅みそぎの郷きこない事務局の工藤氏の講演。第16回学習会は「地域観光戦略を考える～地域資源を活かした広域観光政策への挑戦」を（一社）地域研究工房代表理事小磯氏の講演を開催。第17回学習会では「ゲストハウスとは・ゲストハウスが生み出す価値」ということでtentoten高橋氏・長谷川氏に講演して頂いた。

- 第15回学習会 【日時】平成29年5月31日 【場所】上ノ国町ゾイじょぐら 【主催】当ルート
【参加人数】32名
- 第16回学習会 【日時】平成29年9月13日 【場所】道の駅みそぎの郷きこない 【主催】当ルート
【参加人数】39名
- 第17回学習会 【日時】平成30年2月21日 【場所】江差町保健センター 【主催】当ルート
【参加人数】39名



第15回学習会



第16回学習会



第17回学習会

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト
いにしえ街道のとりくみ他

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、着物を着付けて街歩きや職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。また、福島町千軒そば花観賞会についても芋掘り体験などができ、今年度国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で観賞でき年々人気が増している。

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】平成29年5月3日（水・祝）【場所】江差いにしえ街道

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】2000名（主催者70名、一般参加1930名）

■江差北前のひな語り【日時】平成30年2月3日～3月18日【場所】江差いにしえ街道・江差一円

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】1500名（主催者200名、一般参加1300名）

■千軒そば花観賞会 【日時】平成29年8月27日 【場所】福島町千軒

【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会 【参加人数】200名（主催者50名、一般参加150名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



千軒そば花観賞会

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：地域ガイドの発掘・育成

- 【概要】 地域への愛着・誇りの醸成へ繋がることを目的に、地域の魅力を伝える地元のサイクルガイドを発掘・育成を目指し、静岡県でサイクルツーリズムを通じたまちづくりを実践している講師をお招きし、当地域での実践に向けた内容の講習会を実施した。本年度に実施したサイクルイベントなどで、一部の参加者がコースを案内するサポートライダーとして活躍した。今後は、地元サイクリストの発掘とともに、今回作成したサイクルガイドブックも活用しながら、地域ガイド育成・広がりに向けて力を入れていきたい。★講習会の内容を活かし、講師にも確認いただきながらサイクルガイドの虎の巻を作成した。
- 【日時】 平成29年8月6日（日）10時～：座学編 13時～：実践編（実走）
- 【場所】 JR名寄駅前交流プラザ「よろーな」1階大会議室、名寄市内（約30km）
- 【主催】 道北観光連盟、天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議、旭川開発建設部
- 【参加人数】 全32名（講師：2名、一般参加：25名、主催者：5名）



座学編講師：佐藤雄一氏

（コンセプト株式会社 代表取締役）

ガイドサイクリストの役割やイベント運営体制、実施に向けた準備など、継続的に地域で続けていくための極意を教えていただいた。



実践編講師：山崎清一氏

（サイクルランドちゃりんこ オーナー）

現場での案内の仕方（手の合図、交通ルール等）、リスク管理、ガイドとしてあるべき姿など、名寄市内を実際に自転車で周遊しながらノウハウを教えていただいた。

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDEの実施、情報発信の強化
(きた北海道エコ・モビリティ事業の推進)

【概要】宗谷シーニックバイウェイと連携し、旭川から稚内の宗谷岬まで自転車で3日間、総距離約320kmを走るサイクリイベント「TEPPEN-RIDE」を実施した。参加者からは継続実施を求める声も多かった。継続的な事業実施のための資金確保や運営体制を強化するため、取組の周知を徹底し、「仲間」を増やしていけるような仕組みづくりが必要と考えている。また、「きた北海道エコ・モビリティ」のサイトを日本語版と英語版、中国語（繁体字）版を作成した。今後は、事前PR強化のため、サイトの見直し・追加と、Facebookやインスタグラム等を活用したPRにも力を入れたい。

【日時】平成29年9月1日（金）～3日（日）

【場所】1日目：旭川市～名寄市、2日目：名寄市～中川町、3日目：中川町～稚内市

【主催】きた北海道エコ・モビリティ、天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議

【参加人数】TEPPEN-RIDE 45名（参加者・サポートライダー・スタッフ込＊日により変動あり）

TEPPEN-RIDE



▲ゴール地点「宗谷岬」にて。全員無事に完走。



▲休憩ポイント毎に地域からのおもてなし。



▲完走祝賀会（稚内市）

サイト



▲英語場サイト（TOP）

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：各地イベントでのルートPR

- 【概要】観光客等が集客するイベント会場にて、シーニックPRブースを設置し、シーニックバイウェイやルート活動の紹介などを行った。今回のイベント会場に限らず、ルート内の各地域で開催されるイベント等での展開など、様々なところで目に触れるような工夫をしながら継続的に実施し、取組の周知に繋げたい。また、シーニックの活動に賛同し、新たな仲間が増えること（活動への参画）も期待できる。
- 【日時】①平成29年9月2日（土）・3日（日）②平成29年10月12日（木）・13日（金）
- 【場所】①幌加内「新そば祭り」 ②道庁赤レンガ「沢山！特産！きた北海道フェア」
- 【主催】①旭川開発建設部、天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議
②道北観光連盟、天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】①旭川開発建設部 約10名（会場全体来場者数約4万人）
②ルートメンバー 30名（来場者数は不明）

①新そば祭り



▲道路事業のパネル展とあわせてシーニックバイウェイの紹介をパネル展示にて行った。

①沢山！特産！きた北海道フェア



▲ルートメンバー（9市町村の観光協会・商工会）がお勧めする地域特産品の販売とあわせたPRブースを設置。あいにくの雨であったが、平日実施のため、通勤時や昼食時の札幌市民、観光名所でもあることから道内外・海外からの観光客といった、様々な方に地域の魅力を伝えることができた。